

環境に配慮した「確かな暮らしが営まれる、豊かで 持続可能な地域づくり」をめざして

(『エコマネジメント長野』 建設部環境方針)

建設部では、県の『エコマネジメント長野』環境方針」を踏まえ、循環を基調とする社会の構築や自然と共生する環境づくりに率先して取り組みます。

今年度は、以下のとおり目標を定め、環境に配慮し、環境負荷の低減につながる公共事業や住まいづくりを進めます。

1 施設・設備の省エネルギー化の推進

- ・ 道路照明灯のLED化を推進し、二酸化炭素排出量の削減による環境負荷の抑制を図ります。
- ・ 県産材を利用し、信州の気候や風土に合った、環境にやさしくゼロカーボンに資する、長寿命で高品質な住宅の普及を推進するとともに、建築物の省エネルギー化や低炭素化を促進します。

2 事務の効率化の推進

- ・ テレビ会議やタブレット型端末を使ったペーパーレス会議の積極的な活用等により、不要な資料の削減や必要最小限の印刷部数の徹底など、会議資料の見直しを図ります。
- ・ 保存期間を経過した書類の廃棄や書類の整理を励行し、事務の効率化を図ります。

3 環境に配慮した事業の推進

- ・ 長野県公共事業等環境配慮推進要綱及び建設部公共事業環境配慮指針に基づき、環境に配慮した公共事業を推進します。
- ・ 長野県建設リサイクル推進指針に基づき、特定建設資材に係る分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等を推進するとともに、再生建設資材の率先利用に取り組みます。
- ・ 安全で快適な通行空間を確保し、都市部等の景観形成を図るため、無電柱化を推進します。
- ・ 水生生物の生息・生育環境に配慮した水辺環境を保全するとともに、水と緑の連続した空間の形成を図ります。
- ・ 緑とオープンスペースである既存公園の維持管理を適正に行うとともに、市町村の都市公園事業を支援し、緑豊かなまちづくりを推進します。
- ・ 建設部所管施設の効率的な管理に努め、日常業務活動における環境負荷の低減に努めます。

この他、職員は、節電・節水やエコドライブの実践など、日常生活においても環境に配慮した取組を率先して取り組みます。

令和7年4月1日

長野県建設部長 栗林 一彦